

第48回 愛知県障害者技能競技大会

ネイル施術 競技課題

1. 競技内容

作品は課題1～2の2種類とする。

(1) 課題1：『ネイルケアとカラーリング』

前半：【ネイルケア（ファイリングのみ）】両手

トレーニングハンドに装着されたネイルチップの長さ、形、表面を整えます。

ネイルサービスの基本となる、健康で美しい爪と指先を保つための仕上がり技術テクニクを競います。

後半：【カラーリング】両手

カラーリングの基礎であるカラーポリッシュとサロンサービスの主流であるジェルネイルを使用し、左右それぞれに指定のカラーリングを施します。

使用材料に合わせた技術テクニクと施術の正確さ、仕上がりの美しさを競います。

●右手5本：カラーポリッシュ（赤） ※競技者自身が用意したものを使用する

●左手5本：ジェルネイル（パールホワイト） ※主催者側が用意したものを使用する

※5.競技で使用するカラージェルについて 参照

(2) 課題2：『ネイルチップアート』5本

テーマ：【地球】～the Earth～

ポリッシュやアクリル絵の具、またはジェルネイルを使用してテーマにあったアートデザインをネイルチップ5本に作成し、創造力とアート技術を競います。

- ・地球の大地で育む尊いのち（自然、動植物、人など）をテーマとしたアート
- ・私たちが住む地球へのメッセージをテーマとしたアート

など

2. 競技時間

【課題1：65分】 ※前半と後半の間に別途10分間の審査時間があります。

・前半 ネイルケア：15分

手指消毒からスタートし、トレーニングハンドに装着されたネイルチップのファイリングを行う。

ネイルチップの表面は、後半のカラーリング内容に応じた準備として、サンディング（左手）まで行う。

・後半 カラーリング：50分

トレーニングハンドの両手にそれぞれ指定された2種類のカラーリング（ポリッシュとジェル）を行う。

【課題2：80分】

競技開始時に配布されたネイルチップをスタンドに装着するところから始める。

必要に応じて、競技時間内に長さや形の形成を行い、ネイルアートを施す。

アート部分はポリッシュ、ジェル、アクリル絵の具などのネイル材料を使用し、

仕上げはトップコートまたはトップジェルで行う。

※トップジェルを使用した場合は、必ず未硬化ジェルを拭き取ること。

3. 提出方法

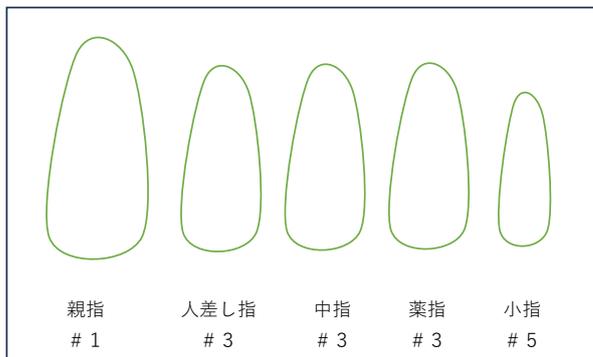
課題1：参加者から申し出及び競技時間終了の合図で競技終了とし、トレーニングハンドの指を伸ばした状態で提出とする。

課題2：作品は競技で使用したチップスタンドに装着したままの状態提出とする。

左から 親指⇒人差し指⇒中指⇒薬指⇒小指の順にならべ、爪先を上向きにすること。（以下のイメージ図参照）

【イメージ図】 ※チップスタンドに装着したまま並べる

爪先を上向き ↑



4. 競技で使用するネイルチップについて

各競技で使用するネイルチップは以下の商品を使用する。いずれも当日配布されたものを使用すること。

(1) 課題1：競技開始前に配布されたトレーニングハンド（チップ装着済み）を使用（持ち込み不可）

- ・メーカー：ネイルパートナー
 - ・トレーニングハンド：NP NEW プラクティスハンドDタイプ 両手
 - ・ネイルチップ：カプリ P4チップ（ナチュラル）
 - ・サイズ：親指（#2）人差し指（#3）中指（#3）薬指（#3）小指（#5）
- ※事前に主催者側でフリーエッジ5mm程度のスクエアにカットして装着済み

(2) 課題2：競技開始前に配布されたものを使用（持ち込み不可）

- ・ネイルチップメーカー：BEAUTY NAILER（ビューティーネイラー）
 - ・商品名：プレミア クリアチップス バイ サイズ ロングラウンド（P-15）
 - ・サイズ：親指（#1×1枚）人差し指、中指、薬指（#3×3枚）小指（#5×1枚）
- ※ネイルチップの加工は競技時間内に行うこと

5. 競技で使用するカラージェルについて

課題1の後半で使用使用するカラージェル（パールホワイト）は以下の商品を使用する。必ず当日配布されたものを使用すること。

- ・メーカー：PRI GEL（プリジェル）
 - ・商品名：カラージェル カラーEX パールホワイト（504）
- ※競技終了後は回収いたします。

6. テーブルセッティングについて

- ・競技開始までに、すべての準備を終了すること。**入室可能な時間は9:20**です。
 - ・使用する器具や材料はトレーの中にセッティングし、作業中も含め衛生的に管理すること。
 - ・競技開始後、作業で使用する道具や材料等をカバンから取り出した場合は減点とする。
 - ・使用する機材や材料は、必要に応じて各自で持参すること。
 - ・ジェルネイルランプのセッティング場所は、作業テーブル内であれば自由、各自で管理すること。
- ※ジェルネイルランプの電源を競技前に自身で確認すること。不具合により競技に支障が出た場合でも配慮はいたしません。

7. 注意事項

- ・使用機材に不具合が発生した場合は、スタッフに報告し、指示に従うこと。
 - ・競技に必要なものは各自で持参すること（8.会場に準備してあるもの、9.競技者が持参するもの 参照）
 - ・競技時間終了よりも早く、作品が完成した場合はスタッフに申し出ること。
 - ・会場での座席位置は指定された席を使用すること。移動はできません。
- (注1) 補助具等（書見台等）の導入が必要な場合は、事前に事務局に申し出ること。
それらは原則として参加者自身が持参し、事前にスタッフの立ち合いのもとで導入すること。
ただし、導入に不具合があっても特別な配慮は行わないこと。

8. 会場に準備してあるもの

No.	名称	仕様
1	作業台 (机)	w1800×D460×H700
2	電気スタンド (デスクライト)	手元用の照明
3	椅子	
4	テーブルシート	机上に敷いて使用する防水ペーパー
5	消毒用エタノール	手指消毒用の消毒剤
6	トレーニングハンド	左右1対 ネイルチップを装着した状態
7	ネイルチップ (課題2 使用分)	5枚 ※4.競技で使用するネイルチップについて 参照
8	チップスタンド	1セット(5個)
9	カラージェル (パールホホワイト)	1個 ※5.競技で使用するカラージェルについて 参照
10	ネイルチップ用粘土	チップスタンドにチップを貼るための粘着剤
11	両面テープ	
12	キッチンペーパー	
13	水 (アート筆洗浄用)	水入れ容器は各自で持参
14	電源コンセント	電気スタンド、ジェルネイルランプで使用
15	ゴミ袋 (小)	競技中に出たごみを入れるビニール袋

9. 競技者が持参するもの

No.	名称	仕様
1	消毒剤用容器	スプレーボトルやディスペンサーなど
2	ベースコート	
3	トップコート	
4	カラーポリッシュ	課題1で使用する赤色は必須
5	ベースジェル	
6	トップジェル	
7	カラージェル	
8	筆	アート筆、ジェル筆など
9	水入れ	アート筆を洗うための水を入れる容器
10	ジェルネイルランプ	ジェルネイルを硬化するためのライト
11	ワイブ類	使用するジェルのタイプに応じて用意
12	スパチュラ	ジェルネイル攪拌用
13	エメリーボード	課題1で使用
14	ファイル類	スポンジバッファーやファイルなど
15	ウッドスティック	
16	ダストブラシ	
17	トレイ	用具用材を入れてセッティングする
18	ブラシ立て	筆はファイルなどを入れる
19	ポリッシュリムーバー	
20	コットン (ケースに入れる)	手指消毒で使用
21	アームレスト	トレーニングハンドを乗せて施術
22	アクリル絵の具	課題2で使用する場合のみ持参

※上記に記載のないもので、施術に必要と思われるものがあれば各自で準備すること

※ジェルネイルランプに延長コードが必要と思われる方はご持参ください

※使用する製品や機器のメーカーは問わない

競技要項詳細

課題1 ネイルケアとカラーリング

●競技時間 65分（前半：ネイルケア15分 後半：カラーリング50分）

※前半と後半の間に審査時間10分間あり

●競技内容

施術者とトレーニングハンドの手指消毒から始め、両手のネイルケア（ファイリング）からカラーリングまでを施す。

カラーリングは**右手にカラーポリッシュ（赤色）**と**左手にカラージェル（パールホワイト）**を使用する。

右手に塗布するカラーポリッシュ（赤色）は競技者自身で用意し持参すること。

左手に塗布するカラージェル（パールホワイト）は主催者側で用意し、競技開始前に配布。※配布されたものを使用すること。

※5.競技で使用するカラージェルについて 参照

●競技手順

前半：ネイルケア（ファイリング） 15分

①手指消毒

消毒液を含ませたコットンを用いて施術者の手指、次にトレーニングハンドの手指を消毒する（擦式清拭消毒）

- ・施術者とトレーニングハンド、それぞれに別のコットンを使用する。
- ・手の甲、手のひら、指の間までしっかりと行う。

②ファイリング

エメリーボードを用いて、フリーエッジの長さとしを整える。

- ・エメリーボードは力を入れずに持ち、一定方向へ動かす。
- ・形はラウンド・オーバル・スクエアオフのいずれかの形に整える。
- ・10本の長さとしを整える。

③後半のカラーリングに合わせた爪の状態にする。

- ・右手はポリッシュでのカラーリングは施せる状態（バッファーなどを使用して削り残したバリを取り除く）
- ・左手はジェルネイルの施術が施せる状態（適切なファイルやバッファーを使用してサンディングを施す）
※サンディング不要のジェルを使用した場合でも、競技場のルールとして適切なサンディングを行うこと。
※使用するファイルやバッファーのグリットは爪の状態に合わせたものを使用する。

④爪の表面、爪の裏面のダストを綺麗に取り除く。

- ・ダストブラシを使用し、しっかりと除去する。

⑤使用した器具や材量等、机上の片づけを行い、カラーリングが施せる準備をする。

⑥トレーニングハンドの指をまっすぐな状態にする。

《チェックポイント》

- ・競技時間内に終了しているか
- ・必要な器具や材料が準備されているか（施術に必要と思われるものは各自で準備すること）
- ・ファイリング後の削り後が滑らかで、削り残したバリやダストが残っていない状態であるか
- ・10本のフリーエッジ仕上がり（長さ・形・10本の統一感）
- ・後半のカラーリングに合わせ、爪の準備が適切に行われているか
- ・競技開始前と終了後で、フリーエッジの状態に変化があるか

-----【審査10分】-----

後半：カラーリング 50分

- ① ネイルチップの表面の油分や水分の除去をする。必要に応じて裏面やエッジ部分も行う。
 - ・ カラーリングの施術内容（ポリッシュ・ジェル）に応じた製品を使用して行うこと。
- ② ベースを表面とエッジ（先端、厚み部分）に塗布する。
 - ・ ジェルネイルはジェルネイルランプを使用して硬化し、使用メーカーに応じた硬化時間を守ること。
- ③ 1度目のカラーを塗布する（表面とエッジ）
- ④ 2度目のカラーを塗布する（表面とエッジ）
- ⑤ トップを塗布する（表面とエッジ）
 - ・ ジェルネイルは未硬化ジェルのベタつきがない状態にする。
 - ※未硬化ジェルが出ないタイプ（ノンワイプ）のジェル製品を使用した場合には拭き取りを行わなくてもよい。
 - ただし、表面にベタつきがないように仕上げること。
 - ※ジェルネイル施術において、カラーリング終了後にファイル類を使用することは不可。（減点）
 - ※仕上がり後、クリームやキューティクルオイルの塗布は不可。
- ⑥ トレーニングハンドの指をまっすぐな状態にする。
 - ※カラーポリッシュを傷つけないように注意すること

《チェックポイント》

- ・ 競技時間内に終了しているか
 - ・ 必要な器具や材料が準備されているか（施術に必要と思われるものは各自で準備すること）
 - ・ フリーエッジ先端（エッジ）の塗り残し
 - ・ 厚みの均一性
 - ・ はみ出しや塗り残し、裏側への流れ込み等がないか
 - ・ 表面の仕上がり（色むら・刷あと・ダスト・凹凸・つや・溜まり）
 - ・ トップコートやトップジェルが時間内に塗られているか（未硬化ジェルがない状態）
- ※カラーリング終了後、ネイルファイルを使用しないこと

●注意事項

- ・ 器具や材料を落とした場合は必要に応じて拾い、消毒を行ってから使用する
- ・ 時間内にすべての作業を終了する。終了されていない場合は減点となる
- ・ 競技時間終了後、審査中は作品に手を加えないこと
- ・ ジェルネイルはカラーリング終了後（トップジェル硬化後）、はみ出したジェルネイルをネイルファイルで削ったりフリーエッジのファイリングを行わないこと（ネイルファイル使用は減点となる）

課題2 ネイルチップアート

●競技時間 80分

●競技内容

ネイルチップ5本にテーマに基づいたアートを施す。

テーマ：【地球】～the Earth～

●競技手順

①チップ準備

配布されたネイルチップをチップスタンドに装着する。

- ・ネイルチップとチップスタンドは競技開始前に配布されたものを使用すること
- ・各指に指定された番号（サイズ）を用いて作成すること

【親指】（#1）、【人差し指・中指・薬指】（#3）、【小指】（#5）

※ネイルチップについては**4. 競技で使用するネイルチップについて** 参照

- ・ネイルチップは競技時間内であれば、長さや形を整えてもよい（スタイリングは自由）

②アート施術

ポリッシュ、ジェル、アクリル絵の具などのネイル材料を使用し、アートを施す。

- ・作品のベース部分はポリッシュまたはジェルを使用すること
- ・アート部分はポリッシュ、ジェル、アクリル絵の具を使用する

※アートのデザインに応じて、複数のネイル材料を組み合わせ使用してもよい

③トップコートもしくはトップジェルで仕上げる。

※トップジェルを使用した場合は、必ず未硬化ジェルを拭き取ること。

④ネイルチップを机上に並べる。

※指定された方向にネイルチップを並べる（3.提出方法のイメージ図 参照）

※カラーポリッシュを傷つけないように注意すること

《チェックポイント》

- ・競技時間内に終了しているか
- ・テーマにあったデザインであるか
- ・爪に装着できるアート作品であるか
- ・作品のオリジナリティやデザイン性
- ・デザインテクニック（繊細さや色彩、ペイントテクニックなど）
- ・1枚のチップにアートデザインが50%以上施されていること
- ・表面の仕上がり（色むら・刷あと・ダスト・つや・溜まり）
- ・トップコートやトップジェルが時間内に塗られているか（未硬化ジェルがない状態）
- ・全体のバランス（デザインのバランスや色彩バランス）

●注意事項

- ・器具や材料を落とした場合は必要に応じて拾い、消毒を行ってから使用する
- ・時間内にすべての作業を終了する。終了されていない場合は減点となる
- ・競技時間終了後、審査中は作品に手を加えないこと
- ・使用するチップの加工（形を整えるなど）は、競技時間内に行う
- ・メモ、デッサン画、参考書、その他の資料などの持ち込みは一切不可
- ・ネイルアートはポリッシュ、ジェル、アクリル絵の具を使用する。形状やメーカーの指定なし
- ・著作権など、他者の権利を侵害しないものであること
- ・5本全体で1つのテーマを表現するものとし、5本のデザインがバラバラで異なるものであっても、テーマに沿ったデザインであれば構わない
- ・爪に装着できるアート作品であること
- ・立体的なパーツをその場で作成し、爪に乗せることは可能
- ・市販のネイルシール、ネイルパーツ等で既にデザインが出来上がっているものは使用不可
- ・ネイルアートの装飾品は効果的に使用することは可能
（ラメ・ラインストーン・スタッズ・ミラーパウダー・ホイルなど）